

令和5年度（2023）

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園

穴吹調理製菓専門学校

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 穴吹調理製菓専門学校 学校関係者評価委員会は、令和5年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施いたしましたので、ご報告いたします。

令和6年3月19日
学校法人穴吹学園 穴吹調理製菓専門学校
学校関係者評価委員会

1.学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて穴吹調理製菓専門学校の自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、穴吹調理製菓専門学校が行なった教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2.学校関係者評価委員会

(委員)

田淵 浩	企業等委員	菓子工房サンクラフィーユ	オーナーパティシエ
鈴木 淳	企業等委員	旬彩の隠れ家フレンチ	アンジュール オーナーシェフ
田島 建彦	高等学校関係委員	元高等学校校長	
山本 啓文	卒業生代表委員	やまもと商店	オーナー

(学校教職員)

田淵 照之	穴吹調理製菓専門学校	校長
壽福 英尚	穴吹調理製菓専門学校	副校長代理
高橋 克行	穴吹調理製菓専門学校	教務課長

3.学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 令和6年3月19日(火) 15:00~16:20

開催場所 穴吹調理製菓専門学校校舎2階レストラン

4.自己評価結果の説明・報告（自己評価報告書参照）

当校の「教育理念」、「目的」及び「令和4年度の目標と計画」について説明。

各自己評価項目に関し「評価結果（総括）」、「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」について報告。

各評価項目について、「A」十分である 「B」おおむね十分である 「C」やや不十分である 「D」不十分である の4段階にて評価。

①資料確認

②教育理念、教育目標、教育方針について説明

③3ポリシー（アドミッション、カリキュラム、ディプロマ）について説明

④自己評価報告書

令和5年度の目標と計画

（重点目標）

1. 出願目標93名とし、入学目標である91名（日本人66名）を達成する
2. 担任と管理職が連携の上、学生、保護者とも早期に対応し、退学率3%未満を達成する
3. 学科ごとに教育内容の更なる充実を図り、業界並びに地域社会から必要とされる人材を育成する
4. 新しいことへ積極的に挑戦する一方、業務の効率化・簡略化も進め、教育力と収益力を向上させる

（目標達成のための具体的事業計画、行動計画）

1. 体験メニューの内容および魅せ方を再検討し、各学科の魅力と安心感を提供することで入学目標である91名を達成する
2. 教務の新規体制を早急に確立し、分野のやりがいやおもしろさを実習を通じて教授することで退学率3%未満を達成する
3. 製菓販売や特別授業、試食研修、サービス実習等を通して就職意識を向上させ、専門分野への内定を意識したマッチング指導にて、2月末までに内定率100%を達成する

評価項目別評価結果

○であるが追加で報告

- ・3-11-b 地域の企業、業界団体、自治体等と連携した授業等を行っていますか
フードダイバーシティのハラール・ヴィーガン・ベジタリアンについての講演を実地
- ・3-11-c 地域の企業、医療機関等において、校外実習・インターンシップ等を実施していますか
沖縄インターンシップの新規実施

沖縄インターンシップについての報告

- ・高度調理学科1年生が、2月に希望者12名沖縄でインターンシップを行った
(ホテル日航アリビラ6名・シェラトン沖縄サンマリーナリゾート6名)
- ・令和6年度の入学生に沖縄からパティシエ・ベーカリー学科に1名入学が決まっている。入学後、里帰りインターンシップが出来る制度にしていく。沖縄の人は1度は沖縄から出たいが沖縄に戻って働きたい。在校生にもメリットがある。高度調理学科の学生数が減っているため沖縄インターンシップを売りにしたい。

沖縄インターンシップについて質問

○インターンシップは継続予定ですか

- ・1年生は希望者が2月に、2年生は希望者が夏にインターンシップという方向にする
- ・何の為にインターンシップをするのかを明確にし、質を上げる。

○費用はどうなりますか

- ・今回は、学校の教育の一環として行ったので旅費、寮費はホテル負担。働いた賃金は貰っていない。

○行きたい人全員いけるのか、選抜なのか

- ・今回、行きたいと言った学生は皆優秀だった。今後は、欠席が多い、成績が心配、認定が下りていない学生は行けない。

○沖縄インターンシップの良い面、悪い面、提案

- ・ただで沖縄に行けると思う学生も出てきてしまう。沖縄インターンシップは1年生の2月という時期は凄く良い。学生自身自分のレベルがわかる。
- ・ユーチューブで1人1人動画にすると凄く魅力的だと思う。

フードダイバーシティについての報告

- ・今回は、ハラル・ヴィーガン・ベジタリアンの講演だけだったので今後は実習も行えるようにしていく

×項目の内容と改善点などについて主に報告

- ・3-11-d 県内の他の専修学校・各種学校と協力・連携した教育を行っていますか
専修学校・各種学校と協力・連携した教育はできてはいないが、福山北特別支援学校から依頼があり、お菓子の作り方を教えている
- ・5-2-c より高度な学習・研究ができるよう大学等との併修または接続が可能な体制等を取っていますか
大学との併修、接続体制は取れていないが、これまで編入などの希望者はおらずニーズは低いと思われる。
- ・5-11-c 卒業生の能力向上のため、研修会等を行っていますか
同窓会との連携体制は構築されているが、学校主催での研修会等は実施できていない。
- ・5-12-a 大学等卒業者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則・細則に規定し、適切に認定していますか
大学との単位互換がなく、学則・細則に規定できていない。
- ・5-12-b 教育訓練給付金対象の講座指定を受け、社会人入学生の学費軽減に努めていますか
最短修業年限で資格を取得できる学科を廃止した為、教育訓練給付金認可条件を満たしていない。
- ・7-3-b 教育訓練給付制度(一般教育訓練給付・専門実践教育訓練給付)を利用できるよう取組んでいますか
1年コースのみ適応可
- ・10-4-a 県専各連合会の若年者職業意識涵養事業(県の委託事業)に積極的に参加していますか
県の事業には参加していないが、中・高校生に対しては教育連携により、マナー指導や面接指導、職業体験などの依頼を積極的に受託している。

(目標達成状況)

1. 入学目標
令和5年度 入学目標未達成(令和6年度生)
2. 退学率目標
令和5年度 退学率目標未達成
3. 就職目標
令和5年度 就職目標達成(全員内定)

(今後の課題・改善方策)

1. 特徴的なイベントや取組みなど、学科の魅力を情報発信する共に、これまで以上にOCでの捕捉率向上に努め、入学目標を達成する。

2. 学生の言動に気を配り、問題の早期発見と組織による迅速な対応を行うことで学生との信頼関係を構築し、退学目標3%未満を達成する。
3. 製菓販売や特別授業、試食研修、インターンシップ等を通して職業意識を向上させ、業界内定を意識した進路指導と合わせ、2月末までに内定率100%を目指す。

5. 事業報告

①資料確認

②学生動向(入学生数、在籍生数、卒業生数、休・退学率 等)について報告

1. 学生数報告

年度当初115名、退学5名、退学率4.3%、年度末での在校生数110名

2. 次年度学生数

出願45名、入学予定44名、新年度在校生数95名

・退学理由まで書いてあるほうがわかりやすいので退学理由も書くようにしてほしい。

3. 令和5年度 就職活動について

- ・卒業生数 59名
- ・進路決定者 0名
- ・就職希望者数 54名
- ・内定者数 54名
- ・就職希望者内定率 100%
- ・業界内定率 100%

4. 令和5年度資格取得報告

各学科の主要資格・検定取得率について

- ・サービス接客検定3級 79.3%
- ・パティスリーラッピング 93.5%
- ・製菓衛生師 70.0%
- ・技術考査 96.4%
- ・食育インストラクター 100%

③保護者アンケートについて

回収率86%(昨年回収率95%)

どの設問もA、B、C評価が8~9割を占めるが、一部昨年に比べてDも各設問ごとに増えているのが見受けられる。

○高評価項目

13. 清掃が行き届いており校内がきれいである(A評価78%)
14. 面倒見がよく、最後までフォローしてくれている(A評価73%)
15. 本校に入学させて良かったと思っている(A評価76%)

○気になる評価項目

5. 担任は必要に応じて保護者へ連絡を取り、適切な連携が取れている(D評価2名)
8. 学生の健康面と安全面におけるサポート・指導は適切になされている(D評価2名)

15. 本校に入学させて良かったと思っている（D評価2名）

○保護者意見

- ・学費のわりに授業日数が少ない
- ・包丁研ぎを習えていない
- ・2年生になって授業が少ない

貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待に添えますよう、教職員一同、日々努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

以 上